

## 紀要執筆要項

- 1、横書き和文原稿は46文字36行（A4 1656文字）、縦書き和文原稿は67文字25行（A4 1675文字）、英文原稿は横書き和文に準ずるものとする。
- 2、投稿できるのは、本学教員及び教授会で認めた者である。
- 3、原稿は他誌に未発表のものであること（学会口頭発表はこの限りにあらず）。他者の研究成果を引用する場合は、出典を明記すること。図表（楽譜を含む）はオリジナルであること。既発表の図表を改作した場合はそのことを明示し、そのまま引用する場合は著作権者の承諾を事前に受けること。図表、楽譜等を含め、原則仕上がり12ページ程度とする。ただし、英文原稿の和文題名以下（5参照）は投稿規程文字制限外とする。
- 4、原稿提出は、デジタルデータ（本文：ワード、一太郎、図表：エクセル、JPG、その他）に、印刷原稿1部をつけるものとする。印刷指示書に日本語と欧文でのタイトル・氏名を記入し、添えること。
- 5、原稿記載の順序は以下のとおりである。

**和文原稿**：表題、著者名、著者所属、英文表題、英文著者名、英文所属、抄録、キーワード（5語以内 以下同じ）、本文、謝辞、注（あれば）、引用文献、参考文献

**英文原稿**：表題、著者名、著者所属、抄録abstract、キーワード、本文、謝辞、注（あれば）、引用文献、参考文献、和文題名、和文著者名、和文抄録

短期大学部所属の場合、著者所属を省くことができる。連名で投稿する場合は、氏名の後肩に番号を附し、その番号に基づき所属を記載すること。連絡先（著者名、郵便番号、住所、所属先）を1ページ目脚注に入れる。目次・CONTENTSにおいて、題名は、目次：原題表記、CONTENTS：すべて英文とする。

- 6、原稿表記は以下のとおりである。

**和文句読点**：「、。」または「.、」。章・項目表記：順次 1.→ 1.1→1.1.1。

**フォント**：（目安）

（**和文原稿**）本文—明朝 10pt。タイトル・氏名—太明朝、タイトル 20pt（英 Times 15pt）、サブタイトル 14pt、氏名 14pt（英 Times 12pt）。各章・大項目タイトル—ゴチック 12pt、その前に2行、後に1行空ける。注および文献—ゴチック 8pt

（**英文原稿**）Times New Roman、タイトル 16pt、サブタイトル 14pt 氏名 14pt、大項目 12pt、本文・注・文献 10.5 pt

- 7、文献は引用順に番号をつけて記載する。本文中には右肩上付き番号<sup>1), 2)</sup>として示し、文末に来る場合句点を最後とする 一例「・・・である<sup>1)</sup>。」。文献表記は、原則執筆者の所属学会機関紙の様式に従うが、表記内容の順番は以下に準ずるものとする。

**論文**：著者名（発行年）タイトル名. 雑誌名. 巻・号：ページ.

**単行本**：著者名（発行年）タイトル名. 書名. ページ. 発行所.

参考文献を入れる場合は、別項目で先頭に「・」を附し、著者名のアルファベット順の表記とする。

- 8、図表には通し番号をつけ、本文中に引用する。図表を原稿本文中にあらかじめ挿入しておく場合、仕上がりの形で挿入する。図の題名と説明は図下に表記する。別に提出する場合、挿入位置を、印刷原稿の右横欄外に赤で示し、仕上がりサイズを図表に示しておく。この場合、図の題名と説明は、別途一括して作成し原稿につけること。いずれの場合も表の題名は表の上に、注は下につけておくこと。図表の位置は、印刷の都合により移動することがあるので、本文中では移動できる表現をとっておくこと。図表として扱わず、本文の一部として扱う場合は通し番号を付けない。その場合途中でページ変更がありうるものとする。

- 9、注は通し番号をつけて記載する。本文中には右肩上付き番号<sup>注1), 注2)</sup>として示し、説明文は原則として当該ページの脚注に入れる。長文になる場合や注が多数ある場合は、原稿末尾の引用文献の前にまとめて記載してもよい。

平成30年10月31日印刷  
平成30年11月1日発行

**紀要 第49号**

**編集者** 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部  
**発行者**

奈良市中登美ヶ丘3-15-1

**発行所** 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部

電話 0742-93-5400番(代)

**印刷所** 株式会社 春日

奈良市三条栄町9-18

電話 0742-35-7222番